

加須市立種足小学校

車椅子テニス体験



全学年

特色

- 電動車椅子テニスプレイヤーの一宮剛さんを講師に迎え、1～4年生は車椅子乗車、5・6年生は実際にテニスを行い、全児童が操作やラリーの大変さを体感した。
- 講話や体験活動を通して、人との出会いやノーマライゼーションの理念の大切さを学んだ。

児童の感想

- 打ちやすいところに球出ししてくれたけれど、本当は車椅子ですばやくボールの位置に動いて打ち返すから、とても難しい。
- 難しいことでも挑戦して努力すればできるようになることを教わった。初めから「できない」と思わずに挑戦していきたい。
- いろいろな人との出会いを大切にしていきたい。

成果

- 障害者スポーツに対する関心が高まった。電動車椅子テニスという競技を知り、障害の状態に応じた様々な条件のもとで、誰でも挑戦するチャンスがあることに共感できた。
- 講師から前向きな気持ちで周囲の人々と関わりながら生活してきた経験を伝えられ、感謝の心をもつことの大切さを実感できた。